

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	HM	学部・学科	国際教養
学 年	3	派遣国	台湾
派遣大学	東海大学		
期 間	2025 年 9 月 4 日～ 2026 年 6 月 12 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 (4 人部屋)					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎ (△)	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (13200) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(中国語の教室まで徒歩) で、約 (8) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

△：キッチンは寮に共同設備としてあったが、使用には申請が必要。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	45000 円	基本 1 日 1500 円以内
学用品購入費	2000 円	教科書、ノート
交通費	2000 円	遠出のとき (月によって変動あり)
交際費	1500 円	
その他	6000 円	洗濯 + 乾燥、旅行

合計

56,500 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は良いです。夜中でも学校の裏にある夜市にひとりで行けます。繁華街は注意したほうがいいかと思いますが、日本と同じくらいの治安の良さかと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 (海外危機管理サポートデスク)		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103,930 / 20,878) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**台中**)

桃園空港から高速バスで二時間半ほどです。

最初は桃園空港から大学無料送迎バスで大学に行きました。

台湾は南北に長い形なのですが、中部なので北部にも南部にも新幹線や電車、高速バスで移動することができ、アクセスも良いです。

台中市内は 10 km 圏内バスが無料です。交通費が節約できます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	東海大学	所在地	台中市
最寄空港	桃園空港	空港からの距離	バスで2時間半
空港⇄大学	(高速バスで2時間～2時間半程度) *移動手段		
学生数	約1万5000人	留学生数	1000人以上
学部	<ul style="list-style-type: none"> ・文学部 ・理学部 ・工学部 ・管理学部 ・農学部 ・社会科学部 ・芸術、クリエイティブデザイン学部 ・法学部 ・国際学部 ・情報学部 <p>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>学部関係なく授業を選べる形式</p> <p>*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語
午後	GL: trends in global and environmental change			Taiwan history	English-Daily communication

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語
午後	Chinese grammar			Taiwan international and economical	

3. 履修内容

科目	中国語		
履修期間	9月～12月, 2月～6月	単位数	15×2
授業内容／形態	中国語で中国語を学ぶ授業。日常生活から政治や台湾文化についても中国語で意見を考えられるようになる。また、口語だけでなく、書き言葉についても学ぶ。		
成績			
YCU 振替予定	科目	中国語教養実践 AB 専門外国語 AB	
	単位数		
	担当教員		

科目	GL: trends in global and environmental change		
履修期間	9月～12月	単位数	3
授業内容／形態	気候変動や生物多様性の減少、絶滅危惧種の増加について科学的、哲学的に考える授業。 事前に配布される PDF のテキストを読み込み、ディスカッションを行う。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Taiwan history		
履修期間	9月～12月	単位数	2
授業内容／形態	台湾の歴史や文化を学ぶ授業。フィールドトリップがある。 教授がスライドを使って一方向授業。 フィールドトリップのレポート、期末プレゼンテーションがある。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	English-Daily communication		
履修期間	9 月～12 月	単位数	2
授業内容／形態	日常英会話の授業。 教授が英会話の動画を紹介してくれたり、会話フレーズを教えてくれる。 プレゼンテーションが2回ある。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	華語文法 CEFR B1		
履修期間	2 月～6 月	単位数	2
授業内容／形態	中国語授業の教科書第3冊を毎週1課学ぶ授業。毎回5～10個程度の新しい生詞、1、2個の文法を学ぶ。基本はオンデマンド授業で月曜配信、次週の月曜までに課題提出。学期で4回だけオンデマンドでなく、zoomのような感じでオンライン授業がある。 中間試験は既習事項のテスト、期末テストはグループプレゼンテーション。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Taiwan international and economical		
履修期間	2 月～6 月	単位数	2
授業内容／形態	台湾との国際関係について外部から講師を招いて学ぶ授業。 毎回授業内容の summary と自分の感想を書いて提出する。グループプレゼンテーションを行う。 台湾との経済、政治的関係に加え、各地域の文化や環境問題に対しての対策なども学ぶ。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		

	単位数	
	担当教員	

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学生生活を通じた成長は大きく分けて2つあり、1つ目は中国語力の向上、2つ目は考え方、行動力の変化だ。

元々は英語の勉強をメインで留学しようと思っていたが、実際に1年生活してみると中国語の会話力が格段に向上した。横市では中国語教養基礎ⅠⅡ、教養実践まで履修していたが、単語や文法などは曖昧でリスニングやスピーキングもままならないまま、自己紹介だけできる状態で行ったが、毎日の授業を通じて、中国語学習の魅力に気が付いた。きっかけとしては台湾人の友達ができただことだと思う。そこから中国語が「授業」「テスト」で扱うものではなく、日常生活で使用するツールとして認識するようになり、自分の学習意欲も高まった。この経験を経て、私は語学学習には、机の上で参考書を開いて勉強するよりも実際に使うこと、使う予定があることが自分には合っていると考えた。そうすることで、勉強目的が明確になり、学習意欲も上がると考える。

またその友達がいろんな台湾のお正月やお盆のような家族行事にも呼んでくれたり、他の友達を紹介してくれたり、クラブ活動にも誘ってくれたりなどとても良くしてくれた。外交的な彼女の影響を受けて自分もどんどん外交的になっていった。私の留学を通して最も幸運だったことは彼女と友だちになれたことだと思う。

このように中国語力の向上を実感した一方で、2つ目の成長として、考え方や行動力にも大きな変化があった。

留学前は、留学で台湾人や他の国の留学生と出会って、異なる文化や考え方に触れるというのが、1つのゴールであった。しかし、留学を通して気が付いたのは、日本人の中でもみんなそれぞれ違う価値観、経験をしており、刺激されることが多いということだ。もちろん他国の学生はそもそも国の文化が違ったり、逆に共通点を見つけたりと文化の差異やそこから生まれる価値観の違いを知れて興味深かった。けれども、日本人でも違う地域で育っていたり、同じ大学生でも海外に10カ国以上行っていたり、バイトを詰め込んでいたり、スポーツで全国大会に出場していたり、自分とは異なる経験をしている人たちが多かった。また、大学生だけでなく、大学卒業後、会社を退職や休職をしてきている方も少なくなく、その方たちの話を聞くことは、自分の今後の将来を考える上での選択肢を広げる機会になった。このようなことから、他国の友達はもちろんのこと、日本人留学生からも影響を受け、自分の行動、価値観、性格に変化をきたしたといえるだろう。

以上の経験から、私は留学を通して語学力だけでなく、価値観や行動面においても大きく成長することができたと感じている。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学で中国語の日常会話ができるようになったので、今後も中国語には力を入れていきたい。留学中は会話する場面が多かったので、スピーキングやリスニングが大幅に伸びた。せっかくのこの成長を無駄にしないために日本でも中国語を使う機会を確保したい。具体的には、外国人観光客が多い店での接客バイト、横市に留学してくる中国語圏の学生のバディになり交流する、台湾人の友達と連絡をとり続けることなどを考えている。さらに台湾人の友達とは来年の1月に一緒に旅行に行く計画を立てているのでその時に前よりもコミュニケーションが取れることを目標に取り組んでいきたい。

また仕事についても中国語能力を生かした仕事ができればいいと考えている。そのためには前提として英語を求められていると感じるので英語と中国語のバランスをとりながら学習していきたい。

また留学で得た外交的、楽観的な一面もこれからの大学生活、そして社会人生活でも意識していきたい。自分の凝り固まった常識、概念にとらわれず、今回学んだたくさんの価値観を思い出して過ごしていきたい。またこのような経験は留学だけでなく、いろんな人と交流することで経験できることだと考えるので帰国後も積極的に自分の興味のあることや交流会などに参加して人脈を広げ、いろいろな価値観に触れる機会を定期的に作っていきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

私はこのような留学報告書(アジア地域中心)を留学前に読み込んでいたが、その時に「語学力というよりも自分の考え方が変わりました。多角的に物事を考えられるようになりました。」という報告書の内容に疑問を感じていた。失礼であるが、それは語学力が向上しなかったということへの逃げなのではないかとすら思っていた。

実際に行ってみると、実際に自分の生活でも起こった。もちろん価値観が変わる出来事は日本で生活していても、起こることだ。ただ留学、そして寮という共同生活では毎日毎時間が自分以外の価値観との差異を感じる連続なのだ。そして自分と向き合う瞬間の連続でもある。

だからこそ、今留学を迷っている方、留学を希望する方はぜひ実際に体験してみてほしい。まさに百聞は一見に如かずである。

また留学中は積極的に行動するということを意識していた。元々は少し内向的な性格なのだが、自分から声をかけて友達をつくったり、ご飯に誘ったり、経験したことのないことにも挑戦してみたり、そのおかげで今までの自分ではできなかったであろうコミュニティができた。そして勇気のいることだったが、続くとどんどんそれが当たり前になる。そして、次の挑戦するハードルが下がることに加え、相手にも誘ったら乗ってくれる子だと思われ誘いも多くなる。私がもともと内向的な性格だったからこそ、今後留学に行く方でもし外交的に行動できるのか不安な方がいたらぜひ試してほしい。